

平成28年度 通報連絡及び公表基準に基づく公表事項（内容については別添参照）

区分	発生日	号機	件名
区分Ⅳ	平成28年 5月16日	—	発電所ポスト2（EPO-2）低線量率指示値の下降事象について
	平成28年 6月5日	—	宮丘ステーション（EMS-4）低線量率データの欠測について
	平成28年 10月1日	3	3号機排気筒モニタの指示値上昇について
	平成28年 10月17日	—	テレメータ伝送データの欠測について
	平成29年 1月5日	—	テレメータ伝送データの欠測について

平成28年度 通報連絡及び公表基準に基づく公表事項の内容

区分	発生日	号機	内 容
区分Ⅳ	平成28年 5月16日	—	<p>・ 発電所ポスト2（EPO-2）低線量率指示値の下降事象について</p> <p>平成28年5月16日（月）午前0時00分頃から、発電所ポスト2（EPO-2）の低線量率指示値が徐々に下降する事象が発生。</p> <p>原因調査のため、同日午前9時40分より北海道原子力環境センターへのテレメータ伝送を停止し、その後の復旧作業終了により、同日午後8時50分に伝送を再開した。</p> <p>調査の結果、検出器の不具合により指示値の下降が生じたことが判明したことから、検出器の取替を実施した。</p>
	平成28年 6月5日	—	<p>・ 宮丘ステーション（EMS-4）低線量率データの欠測について</p> <p>平成28年6月5日（日）午後11時20分に、泊発電所より北海道原子力環境センター（以下、「環境センター」という。）にデータを伝送している、宮丘ステーション（EMS-4）の低線量率の値が「0 nGy/h」となるとともに、伝送データの欠測が発生。</p> <p>原因調査のため、6月6日（月）午前0時10分より環境センターへのテレメータ伝送を停止し、その後の復旧作業終了により、同日午後9時20分に伝送を再開した。</p> <p>調査の結果、低線量率計[*]の不具合により、測定値の指示が「0 nGy/h」になるとともに、伝送データの欠測が生じたことが判明したことから、低線量率計の取替を実施した。</p> <p>[*]低線量率計 検出器からの信号を線量率データ（nGy/h）に処理する装置。</p>
	平成28年 10月1日	3	<p>・ 3号機排気筒モニタの指示値上昇について</p> <p>平成28年10月3日（月）午前11時00分頃、放射線管理システムにて3号機排気筒モニタ（A系）の10分間平均値（以下、「モニタ指示値」という。）を確認したところ、平成28年10月1日（土）午前1時50分に、モニタ指示値がそれまでの420～430cpm程度から454cpmに上昇し、以降、モニタ指示値が漸減したが上昇前のモニタ指示値までは戻っていないことが判明した。</p> <p>モニタ指示値の上昇原因を調査するため、北海道原子力環境センター（以下、「環境センター」という。）に連絡し、平成28年10月3日（月）午後5時20分より、テレメータの伝送を停止し、排気筒モニタの調査を行うこととした。</p> <p>その後、10月4日（火）の復旧作業により、翌日5日（水）午後7時40分より環境センターへのテレメータ伝送を開始した。</p>

区分	発生日	号機	内 容
区分Ⅳ			<p>モニタ指示値の上昇原因が放射性物質の放出等による影響ではないことから、3号機排気筒モニタ（A系）について調査を行った結果、1次系制御監視盤（放射線監視設備信号処理部）内の信号処理カード※から検出器に印加している高圧電源の電圧値が設定値よりも高めにずれたことで、モニタ指示値の上昇に至ったものと判断した。</p> <p>このことから、信号処理カードを予備品に交換した。</p> <p>※信号処理カード 信号処理を行うために放射線モニタ毎に設けられたカードであり、主に以下の機能を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検出器への高圧電源の印加 ・検出器信号の入力／演算処理 ・演算結果の指示、外部出力 ・警報出力
	平成28年 10月17日	—	<p>・ テレメータ伝送データの欠測について</p> <p>平成28年10月17日（月）午前3時00分に泊発電所から北海道原子力環境センター（以下、「環境センター」という。）へ伝送している全てのデータの伝送不良（欠測）が発生。</p> <p>状況を確認したところ、環境センターへのテレメータ送信は未送信となっていたが、発電所内でのデータ収集については問題なく実施され、測定データに異常がないことを確認した。</p> <p>また、全てのデータが何らかの影響で伝送不良になっていることから、同日午前9時30分に「調整中」とした。</p> <p>その後、10月19日（水）の復旧作業により、同日午後10時10分より環境センターへのテレメータ伝送を開始した。</p> <p>発電所内で収集されたデータは、10分毎にテレメータ送信局を経由し、環境センターへ伝送している。</p> <p>調査の結果、テレメータ送信局のうち、環境センター向けに伝送を行っているデータ送信装置の通信用モジュール※に不具合が発生していることが認められたことから、本機器の不具合により環境センターへのデータが伝送できず、伝送不良となったものと判明した。</p> <p>このことから、データ送信装置の通信用モジュールを予備品に交換した。</p> <p>※通信用モジュール データ送信装置で収集した発電所内外の各測定データを環境センター向けの伝送規格に変換し伝送する機器。</p>

区分	発生日	号機	内 容
区分Ⅳ	平成29年 1月5日	—	<p>・ テレメータ伝送データの欠測について</p> <p>平成29年1月5日(木)午前3時10分に泊発電所から北海道原子力環境センター(以下、「環境センター」という。)へ伝送している全てのデータの伝送不良(欠測)が発生。</p> <p>状況を確認したところ、環境センターへのテレメータ送信は未送信となっていたが、発電所内でのデータ収集については問題なく実施され、測定データに異常がないことを確認した。</p> <p>また、全てのデータが何らかの影響で伝送不良になっていることから、同日午前4時40分に「調整中」とした。</p> <p>その後、復旧作業により、同日午後5時00分より環境センターへのテレメータ伝送を開始した。</p> <p>発電所内で収集されたデータは、10分毎にテレメータ送信局を経由し、環境センターへ伝送している。</p> <p>調査の結果、テレメータ送信局のうち、発電所の各データを収集・処理を行う中継装置※1のCPUモジュール※2に故障が発生していることが認められたことから、本機器の故障に伴い、環境センターへのデータが伝送できず、伝送不良となったものと判明した。</p> <p>このことから、中継装置のCPUモジュールを予備品に交換した。</p> <p>※1 中継装置 発電所内外の各測定データを収集する装置</p> <p>※2 CPUモジュール 中継装置におけるデータ収集処理を行う機器。</p>

以上